

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024年3月5日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 178-0063

所在地 東京都練馬区東大泉3-37-2

評価機関名 株式会社シーサポート

認証評価機関番号

機構 13 - 223

電話番号 03-3921-1561

代表者氏名 代表取締役 白井豊

以下のとおり評価を行いましたので報告します。



評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	白井豊	経営	H0405018
	②	石崎志津子	福祉	H1601062
	③	白井小都子	福祉	H2201016
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	アウル宮前保育園			
事業所連絡先	〒	168-0081		
	所在地	杉並区宮前2丁目11番11号		
	TEL	03-5941-5112		
事業所代表者氏名	青木るみ子			
契約日	2023年 6月 21日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023年 11月 6日			
利用者調査結果報告日	2024年 1月 24日			
自己評価の調査票配付日	2023年 11月 6日			
自己評価結果報告日	2024年 1月 24日			
訪問調査日	2024年 2月 15日			
評価合議日	2024年 2月 25日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・専門性に配慮し、社会福祉士を評価者として配置した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

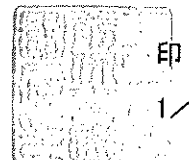
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024年3月4日

事業者代表者氏名 アウル宮前保育園

園長 青木るみ子



印

1/1

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	個別と集団・室内での教育と戸外活動等バランスを図った保育を推進しています
	内容	子どもたち自身が考え、友だちや遊びに関心をもつことを尊ぶ保育を実践しており、集団の中で表現することや周囲を思う気持ちを育む環境を提供しています。また遊戯室での活動や散歩だけでなく、テラス・園庭を利用し、積極的に細かな時間を活用しながら戸外活動を実践しています。子どもの個別対応と集団、室内での教育と戸外活動等バランスを図った保育を推進しています。
2	タイトル	地域性や保護者のニーズをくみ取りながらオリジナルな行事開催が実現しています
	内容	運動会・生活発表会はねらいをもったカリキュラムにより子どもたちに貴重な経験を積んでもらえるよう取り組んでいます。開園当初は法人内他園からの継承を図っていましたが、7年が経過しようとする中で、地域性や保護者のニーズをくみ取りながらオリジナルな行事開催が実現しています。コロナ禍での開催から学んだ点も多く、園や職員の苦労や尽力は決して無駄ではなかったことが各計画書・企画書から理解できます。
3	タイトル	地域のニーズに応える積極的な取り組みがなされています
	内容	介護保険地域密着型サービス事業所と併設されており、地域交流・世代間交流について重視したコンセプトを持っています。本年度は新たに児童発達支援事業所を併設したことから関係機関・事業所等新たなネットワークが構築されており、一時預かり事業とあわせて地域のニーズに応える積極的な取り組みがなされています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	小手先ではない職員研鑽にむけて研修の継続と改善を目標としています
	内容	法人全体にて人間力を高める・配慮ある接遇に向けての研修を行っており、リーダーの育成・次世代リーダーの育成にあたっています。来年度は研修の内容を深めるためのフォローアップへの注力と少人数化を予定しており、小手先では獲得できない真の職員育成を進めていく意向をもっていきます。
2	タイトル	過度の配慮を取り除き、コロナ対応の習慣化是正を進めることを予定しています
	内容	新型コロナウイルスの蔓延防止にあたっては子どもたちの健康に配慮し、厳格な取り扱いにて対応してきましたが、分類変更等環境の変化に対して活動や対応の緩和にあたっています。習慣化してしまった対応が現状状況に照らし合わせて過度の取り組みとして残っている部分を認識しており、職員負担の軽減と子ども・保護者への安心を考慮しながら指導・指摘を通して変更していくことを予定しています。
3	タイトル	幼児への移行期に対する環境変化への対応や進める保育の子どもたちへの影響を検証していく意向をもっていきます
	内容	2歳から5歳の保育室はクラスごとに仕切られている部分と空間を共有している部分とが共存した工夫した造りとなっており、クラスに閉じこもらない保育を実践しています。積極的な縦割り保育を実施しており、異年齢でのコミュニケーションや職員の連携を生み出しています。乳児から幼児へと移行する2歳児の保育は発達・発育等の違いや環境変化に対して特に配慮を要しており、進める保育の影響等を今一度検証していく意向をもっていきます。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう援助している
タイトル①	様々な活動が再開し、日常の姿を取り戻しています	
内容①	新型コロナウイルスの対策として、保護者の入室場所・通行方向の限定・入室制限、パーティションの使用、玩具等消毒管理、おしぼりの使用と衛生管理等々厳格な取り組みがなされてきましたが、分類変更後は緩和し、衛生に配慮しながら活動がなされています。バイキング形式の食事・行事の運営・併設の高齢者施設との交流などが再開されており、日常の姿を取り戻しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-5	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている
タイトル②	0, 1歳児クラスについて落ち着いた生活と情報共有に対する配慮がなされています	
内容②	0歳、1歳の部屋は畳が敷かれており、ゆったりと過ごすことができる十分なスペースが確保された環境となっています。また医務室の設置、正・准看護師の複数名配置により体調を崩した子どもに対しても適切な対応がとれるよう体制が構築されています。2から5歳児のルームからは距離が保たれた空間となっていることから、職員の連携や園全体での情報共有に対して配慮がなされています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル③	工夫した造りと積極的な縦割り保育の実施が効果をあらわしています	
内容③	保育室はクラスごとに仕切られている部分と空間を共有している部分とが共存した工夫した造りとなっており、クラスに閉じこもらない保育を実践しています。積極的な縦割り保育を実施しており、異年齢でのコミュニケーションや職員の連携を生み出しています。開園から7年が経過しようとする中、卒園児も数多く輩出しており、特に高齢児に小さな子どもたちへの優しさやいたわりが培われていることに効果を認識しています。	

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1)法人理念(みんなのために)を理解し、実践できること</li><li>2)園の保育理念、保育目標、基本方針を理解し、実践できること</li><li>3)他者理解</li><li>4)自己の意見を適切に表明できること</li></ol>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・法人の一員として、法人理念を実践できる人物。</li><li>・自己の役割を認識し、一社会人、専門職、社会福祉に身を置くものとして、恥じることのない行動をとることができる人物。</li><li>・職業倫理を尊重する人物。</li><li>・他者を尊重し、自己の意見表明ができる人物。</li></ul> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自らの役割を認識し、一社会人、専門職、社会福祉に身を置くものとして使命感を持ち続けること。</li><li>・常に自己研鑽に励み続けること。</li></ul>

調査対象	園児149名に対する全世帯133世帯を単位・対象として実施。
調査方法	アンケート方式 事業所より利用者調査票を各世帯に配布。専用の封書での郵送またはWEBでの送信を利用者が選択して評価機関に直接回答。

利用者総数	149
利用者家族総数(世帯)	133
共通評価項目による調査対象者数	133
共通評価項目による調査の有効回答者数	79
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	59.4

利用者調査全体のコメント

園の総合的満足度については、「大変満足」:59.5パーセント、「満足」:36.7パーセント、「どちらともいえない」:1.3パーセント、「不満」:2.5パーセント、「大変不満」:0パーセント、「無回答」0パーセントの回答となっている。活動が豊富、丁寧な対応、詳しい様子の報告、写真の配信、適切な登降園管理、アプリの活用、イベントが多い、様子を見る機会が多い、柔軟な対応、教育面の充実、就学へ向けた対応、習い事、安全な環境、衛生管理、寄り添ってくれる、成長している、工夫のある活動に感謝と賞賛の意見があった。職員の言動、詳細な様子の報告、外遊びの少なさ、スペースが狭い、職員の入れ替わり、日程変更の連絡方法、動画視聴、担任とのコミュニケーション、時代に合った保育、子ども主体の活動、多様性のある保育、職員の交通マナー、保育士が少ない、行事の負担、トイレ指導、衣服の調整に言及があった。本調査についてはインターネットでの回答ができて良い、入所したばかりで判断が難しいとの意見があった。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答・非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	77	2	0	0
「はい:役立っている」:97.5パーセント、「どちらともいえない」:2.5パーセント、「いいえ」:0パーセント、「無回答・非該当」:0パーセントの回答となっている。季節に合わせた行事、工夫された保育、就学に向けた取り組み、教育面の充実、適切な避難訓練、社会性の習得に感謝の意見があった。戸外活動、自由遊び、動画視聴に意見があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	73	4	1	1
「はい:なっている」:92.4パーセント、「どちらともいえない」:5.1パーセント、「いいえ」:1.3パーセント、「無回答・非該当」:1.3パーセントの回答となっている。家ではできない活動、楽しそうとの意見があった。プログラム、学習活動の内容に意見があった。また日々の活動による子どもの捉え方が違う旨の意見もあった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	74	5	0	0
「はい:配慮されている」:93.7パーセント、「どちらともいえない」:6.3パーセント、「いいえ」:0パーセント、「無回答・非該当」:0パーセントの回答となっている。バランスが良い、美味しい、添加物に気を付けている、完食している、野菜不足が補えている、手作りのおやつ、離乳食への配慮、アレルギーへの配慮に感謝の意見があった。バイキング形式、献立の変更に意見があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	49	19	10	1
「はい:関わっている」:62.0パーセント、「どちらともいえない」:24.1パーセント、「いいえ」:12.7パーセント、「無回答・非該当」:1.3パーセントの回答となっている。高齢者施設との関り、異年齢での関わり、水遊びが多い、行事が充実との意見があった。地域との関わりに、戸外活動について意見があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	56	7	4	12
「はい:対応されている」:70.9パーセント、「どちらともいえない」:8.9パーセント、「いいえ」:5.1パーセント、「無回答・非該当」:15.2パーセントの回答となっている。子どもへの接遇について意見があった。また、そのような経験がなくわからないとの意見があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	63	13	2	1
「はい:十分」:79.7パーセント、「どちらともいえない」:16.5パーセント、「いいえ」:2.5パーセント、「無回答・非該当」:1.3パーセントの回答となっている。職員配置が十分で安心との意見があった。セキュリティ、動画配信について意見があった。また、コロナ禍における園内を見る機会により判断が難しいとの意見もあった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	74	4	0	1
「はい:十分」:93.7パーセント、「どちらともいえない」:5.1パーセント、「いいえ」:0パーセント、「無回答・非該当」:1.3パーセントの回答となっている。土曜日の開催で助かるとの意見があった。日程連絡時期について意見があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	47	26	5	1
「はい:ある」:59.5パーセント、「どちらともいえない」:32.9パーセント、「いいえ」:6.3パーセント、「無回答・非該当」:1.3パーセントの回答となっている。園外での活動、職員の退職、細部への配慮に意見があった。面談の機会について要望の声があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	73	5	1	0
「はい:行き届いている」:92.4パーセント、「どちらともいえない」:6.3パーセント、「いいえ」:1.3パーセント、「無回答・非該当」:0パーセントの回答となっている。清潔が維持されている旨の意見が複数あった。上履きと外履きの境界について意見があった。また、コロナ禍における園内を見る機会により判断が難しいとの意見もあった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	73	3	3	0
「はい:適切」:92.4パーセント、「どちらともいえない」:3.8パーセント、「いいえ」:3.8パーセント、「無回答・非該当」:0パーセントの回答となっている。丁寧、常に明るいとの意見があった。平等性、言葉遣い、表情、職員の服装について意見があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	69	7	1	2
「はい:信頼できる」:87.3パーセント、「どちらともいえない」:8.9パーセント、「いいえ」:1.3パーセント、「無回答・非該当」:2.5パーセントの回答となっている。丁寧な連絡、引き継ぎの適切さ、看護師の配置に感謝・賞賛の意見があった。怪我などの経験がなくわからないとの意見があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	41	24	2	12
「はい:信頼できる」:51.9パーセント、「どちらともいえない」:30.4パーセント、「いいえ」:2.5パーセント、「無回答・非該当」:15.2パーセントの回答となっている。細かい状況の把握、様子を聞く機会に意見があった。また、そのような経験がなくわからないとの意見が複数あった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	64	13	1	1
「はい:対応されている」:81.0パーセント、「どちらともいえない」:16.5パーセント、「いいえ」:1.3パーセント、「無回答・非該当」:1.3パーセントの回答となっている。園児数、職員の対応に意見があった。また、職員との関わりを見る機会がない、職員により差異がある旨の意見があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	61	11	1	6
「はい:守られている」:77.2パーセント、「どちらともいえない」:13.9パーセント、「いいえ」:1.3パーセント、「無回答・非該当」:7.6パーセントの回答となっている。特に意見はなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	67	8	2	2
「はい:わかりやすい」:84.8パーセント、「どちらともいえない」:10.1パーセント、「いいえ」:2.5パーセント、「無回答・非該当」:2.5パーセントの回答となっている。説明を受ける機会について意見があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	59	12	0	8
「はい:対応されている」:74.7パーセント、「どちらともいえない」:15.2パーセント、「いいえ」:0パーセント、「無回答・非該当」:10.1パーセントの回答となっている。不満がない、要望に対応してもらったとの意見があった。要望の伝えやすさに意見があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	27	19	10	23
「はい:伝えられている」:34.2パーセント、「どちらともいえない」:24.1パーセント、「いいえ」:12.7パーセント、「無回答・非該当」:29.1パーセントの回答となっている。詳細な説明について意見があった。そのような機会がなくわからないとの意見があった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
カテゴリ1		
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリ1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ1の講評		
<p>園への理解が深まるよう発信がなされている</p> <p>法人サイト内の園ホームページには保育理念・保育目標等が記されており、園の方針や考えを伝えている。また入園のしおりには、保育理念、保育目標、基本方針、主な取り組みを掲載し、園への理解が深まるよう発信がなされている。子どもの個別対応と集団、室内での教育と戸外活動等バランスを図った保育を推進している。</p> <p>園内での役割やポジティブな職務遂行を指導している</p> <p>アウル宮前保育園職務分担表と類似、年度ごとに園長以下の職務について記名式にて明確化されている。職員に対してはコミュニケーションを図り、園内での役割やポジティブな職務遂行を指導している。また地域性や保護者の特性を考慮しながら運営が進められており、本保育園独自の風土や文化が形成されている。職員の常勤比率の向上を目指しており、職員負担の平準化を目標としている。</p> <p>アプリケーションを活用するなど迅速な伝達にあたっている</p> <p>会議時間の短縮・参加人数の制限等工夫した取り組みにより職員への伝達や情報共有にあたっている。また会議の際には事前にアプリケーションに報告内容を入力し、読み上げる等の形式的時間の短縮なども行われている。また保護者に対してはアプリケーションを通じて保育内容等を配信し、迅速かつ柔軟な運営に取り組んでいる。</p>		



カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>役員会は意向把握の機会として活用されている</p> <p>送迎時等でのコミュニケーションや連絡帳を中心に保護者からの意見聴取に努めている。役員会が設置されており、保護者の負担を考慮しながら意向把握の機会として活用されている。保育ICTシステムを導入し、簡単に保護者へのアンケートを実施できる仕組みが構築されており、配慮と工夫をしながら利用者の意向把握に努めている。</p> <p>各種計画により園の活動を明示している</p> <p>中期計画が策定されており、組織の醸成・設備の整備、人事労務および経営基盤の確立等が示されている。また年度の事業計画には、保健計画・全体的な計画・年齢ごとの年間指導計画等々において、保育活動、安全管理体制、職員研修、行事予定などを記載し、園の活動を明示している。</p> <p>児童発達支援事業所の開業により新たなネットワークが構築されている</p> <p>区内園長会等関係機関の会合への出席を通して地域ニーズや動向の把握に取り組んでいる。また小学校・中学校・公園など社会資源があつまる恵まれた環境を活かし、交流が図られており、併設する高齢者施設とも衛生に配慮しながら親睦が継続されている。本年度新たに児童発達支援事業所を併設したことから関係機関・事業所等新たなネットワークが構築されている。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

### カテゴリー3の講評

#### 自身の業務を振り返るためのツールを整備している

職務についての自己評価を実施しており、自身の業務を振り返るためのツールを整備している。また倫理規程が定められており、子どもの安全と健康を守るものとして児童福祉に資する姿勢が示されている。保育に従事する者として自身がもつ専門性の発揮、日常からの体調管理、保護者・子どもを尊重する姿勢などの意識を高められるよう日々の指導にあたっている。

#### 意識浸透と注意喚起をし、一人ひとりが責任をもった対応となるよう指導にあたっている

子どもの気持ちを大事にした保育がなされるよう日々の指導をはじめ園全体で取り組んでいる。職員が感情的に接してしまうことのないよう指導にあたっている。特に子どもの安全等に対して全職員への意識浸透と注意喚起に注力しており、職員配置人数が多くなる場合にあって一人ひとりが責任をもった対応となるよう指導にあたっている。

#### 一時預かり事業など有する専門性を発揮した事業が展開されている

個人情報保護、事故防止等が定められたボランティア受け入れ規程が設置されており、中学校の就労体験への協力が増えるなど注力した取り組みがなされている。学校110番への協力など地域との協調や果たすべき役割について定着が図られており、一時預かり事業など有する専門性を発揮した事業が展開されている。

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	
カテゴリー4の講評		
<p>ヒヤリハット報告書への職員の意識付けなど種々の安全対策が講じられている</p> <p>火災・地震・不審者侵入などの想定のもと避難訓練が毎月行われている。また防犯カメラ・各種ロック・安全管理マニュアルの設置等セキュリティ設備が完備しており、スプリンクラーの設置等子どもを安心して預けるための環境が整えられている。またヒヤリハット報告書への職員の意識付け、BCP策定など種々の安全対策が講じられている。</p> <p>入園時には個人情報の利用目的について同意を得ている</p> <p>重要事項説明書には、個人情報の守秘、徹底管理、必要時の協力を謳い、説明にあたっており、入園時には個人情報の利用目的について同意を得ている。またプライバシーポリシーと題し、個人情報の取得・利用・第三者提供・開示請求について定め、公表がなされている。ボランティア受け入れ規程にも受け入れ時の注意事項が定められている。</p> <p>保育ICTシステムを導入しており、業務の効率化とデータの保管・整理がなされている</p> <p>子ども・家庭に関する紙媒体の重要書類についてはファイリングし、鍵付きのキャビネットにて保管がなされている。また保育ICTシステムを導入しており、業務の効率化とデータの保管・整理がなされている。また個人情報の取り扱いについて明確にし、適切な対応と園児および家庭の情報が保護されるよう体制の整備がなされている。</p>		

カテゴリ5			
5	職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

人間力を高める・配慮ある接遇に向けての研修を行っている

人材の募集については多様な機関・メディアを活用し、本園の保育を實踐できる人材の確保にあっている。法人全体にて人間力を高める・配慮ある接遇に向けての研修を行っている。リーダーの育成・次世代リーダーの育成にあっており、今後は研修の内容を深めるためのフォローアップへの注力と少人数化を図る意向をもっている。

職員が働きやすいよう環境形成に取り組んでいる

職員の処遇向上、勤務体制の細かな設定、非常勤職員の採用等職員が働きやすいよう環境形成に取り組んでいる。休憩所や更衣室にも十分なスペースが確保されており、職員の労働環境の向上を考慮した造りになっている。ICTシステムの導入や動画によるマニュアルを使用し、業務効率の向上、時間外労働の削減等職員の働きやすさへの配慮にあっている。

小手先ではない実践保育に役立つ外部研修受講を進めていく意向をもっている

細かな職務・役割についての職務分担表への明記、研修計画の策定等キャリアパスの設定による処遇改善計画の実行がなされている。年度の園内研修計画が策定されており、年度末にはマニュアル確認・修正も盛り込まれている。またリモート機器を活用しながら関係団体による園外研修・キャリアアップ研修の受講もなされている。小手先ではない実践保育に役立つ外部研修受講を進めていく意向をもっている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「一園一心」の体制をもとに研修計画立案・実施・評価・対策の実践にあたっている。①基本的資質、②専門性・指導力、③柔軟な発想と対応能力、④責任ある行動、⑤視野の広さと洞察力を目標に掲げ、年間研修計画が立てられている。リーダー・次世代リーダーを育てるべく外部講師を招いたて人間力を高める・配慮ある接遇を実践するための研修を実施している。長期の視野に立った取り組みであり効果については今後の検証を予定している。また来期は参加人数を絞り、研修後のフォローアップを充実させていく意向をもっている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

細かな職務・役割についての職務分担表への明記、研修計画の策定等キャリアパスの設定による処遇改善計画の実行がなされている。年度の園内研修計画が策定されており、年度末にはマニュアル確認・修正も盛り込まれている。またリモート機器を活用しながら関係団体による園外研修・キャリアアップ研修の受講もなされている。小手先ではない実践保育に役立つ外部研修受講を進めていく意向をもっている。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

新型コロナウイルスによる影響により各種活動が制限・縮小していたが、緩和を受け再開がなされている。送迎時の受け入れ体制、行事の実施など衛生に配慮しながら以前の様子を取り戻すよう取り組んでいる。玩具の消毒など過剰な対応となる傾向がまだまだあり、職務負担を考慮し、適切な対応への指導にあたる予定をしている。また運動会等行事の開催方法については変更箇所をそのまま残すなど分析しながら対応にあたっている。

目標の設定と 取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li><li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li><li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li></ul>
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li><li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li><li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li><li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li><li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

朝の視診、体温チェック、清掃分担、医務室の設置など子どもたちが健やかに過ごすための環境を整えるよう取り組んでいる。また体力維持向上を図るため、園内活動での意識、家庭での運動の推奨等に努めている。新型コロナウイルスの対策として、保護者の入室場所・通行方向の限定・入室制限、パーティションの使用、玩具等消毒管理、おしぼりの使用と衛生管理等々厳格な取り組みがなされてきたが、今年度の分類変更をへて通常の対応にもどしている。



II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3, 6-5~6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー1の講評			
<p>ホームページには写真やカリキュラムの説明等が掲載されている          法人のインターネットサイトが設置されており、併せて本園のページが設定されている。方針・行事・活動内容・日課等の情報が掲載されており、園内の様子がわかるよう写真の掲載、英語教室・国語教室等カリキュラムの説明も載せられている。また区のホームページにも一覽および園の概要が掲載されており、園からの提供により定員の充足状況等利用希望者のニーズに沿った情報が発信されている。</p> <p>Q&amp;A集は毎年度補足・充足し、利用希望者の疑問に答えている          入園のしおりについては、保護者が準備する持ち物について具体的に理解できる内容となっている。また毎年度受審している福祉サービス第三者評価結果についても園のホームページに掲載し、理解が深まるよう努めている。利用希望者の質問に対してはあらかじめ回答を準備する・Q&amp;A集の作成等により疑問に感じていることを網羅して伝えられるよう工夫しており、毎年度補足・充足している。</p> <p>戸外活動の充実など園の実情を理解してもらえるよう説明にあたっている          入園希望者の見学がなされており、子どもの様子やカリキュラムの内容を理解してもらえるよう曜日や時間の設定がなされている。教育的プログラムへの注力がクローズアップされる傾向にあるが、戸外活動の充実にも注力しておりバランスを図った保育がなされているなど園の方針を理解してもらえるよう説明にあたっている。説明のあとには参加者の質問に答え、また個人的な相談時間を設けるなど配慮がなされている。</p>			

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
<b>サブカテゴリ-2の講評</b>			
<p><b>しおり・重要事項説明書を用いて留意事項を説明している</b>            入園時説明会は入園のしおり・重要事項説明書を用いて利用時間、職員構成、緊急時対応等留意事項を説明している。また保護者に日程の希望を聞いたうえで個人面談を実施しており、家庭との連携を深めるよう取り組んでいる。綿密に作成されたQ&amp;A集を配布により保護者の負担軽減を図っており、信頼関係構築のためのコミュニケーションに注力が図られている。</p> <p><b>慣らし保育に対してあらかじめ計画し、対応を図っている</b>            入園時には子どもたちに安全・安心に過ごしてもらえること、保護者に寄り添う支援を念頭に様々な配慮した園運営が実施されている。慣らし保育についてもあらかじめ計画し、対応を図っている。また入園後もいつでも相談に応じられるよう個人面談の実施に対しては申請用紙の設置等整備がなされている。</p> <p><b>推進する集団の中で個を大切にするバランスに配慮した保育の成果を確認している</b>            小学校への接続に対しては生活習慣の変更等を行っており、更に小学校との連携を深め、就学に対しても他の取り組み同様丁寧かつ継続性のある支援を実践している。新型コロナウイルスの分類変更をへて小学校への見学や交流なども再開が果たされており、スムーズな就学に向けて取り組んでいる。開園から7年が経過しようとする中、卒園児も数多く輩出しており、推進する集団の中で個を大切にするバランスに配慮した保育の成果を確認している。</p>			

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況 13/13

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引き継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもたちの情報を共有し、園全体で見守れるよう努めている

入園時には家庭状況調査票をはじめ、子どもたちの健康・生活状態について書類を提出してもらい、その後の園生活の環境を整えるために役立てられている。特に食物アレルギー等配慮が必要な子どもについては安全に生活できるよう対応を図っている。また保育日誌等を通じて子どもたちの情報を共有し、園全体で見守れるよう努めている。

状況等の変化を考慮しながら各種計画の策定にあたっている

全体的な計画は、年齢ごとの保育目標のほか情報保護・苦情解決・人権尊重等の方針が定められている。方針は考えのベースになるようどっしりとしたものとなっており、状況等の変化を考慮しながら策定にあたっている。また年間指導計画をもとに月案、週案が策定されており、全てにおいてつながりを意識するよう職員への指導にあたっている。

職員の業務負担軽減について更に指導していく意向をもっている

保育ICTシステムを導入し、記録の電子化がなされている。これまでの既存の資料についてもデータ化し端末より閲覧できるよう整備されている。業務効率の最適化を目標として導入されているが紙媒体の使い勝手の良さを活かし併用するなど柔軟な対応がなされている。保育に入る時間と書類作成の時間との見通しをたて、職員の業務負担軽減について更に指導していく意向をもっている。

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得ようとしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p>個人情報保護方針の明示と利用目的への同意がなされている 法人ホームページには個人情報保護方針が謳われており、その中で、「個人情報の利用について・個人情報の第三者への提供について」記載がなされている。個人情報保護法第23条に定める以外同意を得ることなく第三者に提供しないことを約しており、適切な取り扱いに取り組んでいる。また入園時には個人情報の利用目的を定めた書面を配布・説明し、同意を得ている。</p> <p>プライバシーとセキュリティに配慮した環境が整えられている 道路からは、園庭や保育室が見えない造りとなっており、子どもたちが安心して遊び・過ごすことができる環境が整えられている。またオートロック・防犯カメラの設置などプライバシーとセキュリティが保全されている。おむつ替え・着替え・プール活動等も遮光ネット等を活用し子どもの羞恥心に配慮するよう努めている。</p> <p>性差や個性など一人ひとりの尊重について指導・周知を図っている 権利擁護に関するチェックの実施・職員自己評価等により子どもたち一人ひとりの尊重について指導・周知を図っている。職員会議等機会を設けて都度子どもの意思の尊重について話し合いにあたっている。性差を意識した発言・行動となるよう指導に努めており、高齢児については成長とのバランスを図りながら対応していくよう努めている。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
<b>サブカテゴリ-6の講評</b>			
<p>マニュアルが整備されており、業務の標準化にあっている</p> <p>看護、食育、英語活動、絵本の読み聞かせ、玩具点検、園庭管理などのマニュアルが整備されており、子どもたちが安心して過ごせるよう業務の標準化にあっている。また勤務時間帯別の業務マニュアルも設定しており、効率的かつ責任ある業務となるよう取り組んでいる。新型コロナウイルスの分類変更をへてマニュアルの改訂がなされている。</p> <p>園全体での認識の共有と徹底に努めている</p> <p>話し合いで決められた事項を理解し留意して業務を進めており、園全体での認識の共有と徹底に努めている。申し送り・職員会議・リーダー会議により情報の周知を図り、経験が浅い職員に対してはリーダー・主任・副主任等管理職が指導をする体制が整備されている。またリーダー・次世代リーダーへのフォローを通じて指導的立場にある層への更なる研鑽を図る意向をもっている。</p> <p>地域性や保護者のニーズをくみ取りながらオリジナルな行事開催が実現している</p> <p>行事の定例・固定化が図られており、同じ内容かつ誰が実施しても同じ成果をあげ、ねらいをもったカリキュラムにより子どもたちに経験を積んでもらえるよう取り組んでいる。固定観念にしばられず、職員の負担を考慮して効率的に行えるよう写真や映像を使ったマニュアルを整備している。開設当初は法人内他園からの継承を図っていたが、地域性や保護者のニーズをくみ取りながらオリジナルな行事開催が実現している。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ-4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
			36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(000000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>テラス・園庭を利用し、細かな時間を活用しながら戸外活動を実践している 子どもたち自身が考え、友だちや遊びに関心をもつことを尊ぶ保育を実践しており、注力した取り組みがなされている。集団の中で表現することや周囲を思う気持ちを育む環境を提供している。遊戯室での活動や散歩だけでなく、テラス・園庭を利用し、積極的に細かな時間を活用しながら戸外活動を実践している。</p> <p>工夫した造りを活用し、クラスに閉じこもらない保育を実践している 保育室はクラスごとに仕切られている部分と空間を共有している部分とが共存した工夫した造りとなり、クラスに閉じこもらない保育を実践している。積極的な縦割り保育を実施しており、異年齢でのコミュニケーションや職員の連携を生み出している。特に高齢児に小さな子どもたちへの優しさやいたわりが培われ、生活する中で人間関係を構築できるよう取り組んでいる。</p> <p>併設する事業と連携し、サポートにあたっている 配慮が必要な子どもに対しては子ども家庭支援センターや行政等関係機関と連携し、支援に努めている。巡回指導時など報告・連絡を通して情報の共有に努めており、連携をもって子どもにとって最善の支援提供ができるよう協力している。また今年度併設した発達支援事業所と一時預かり保育室と連携し、保育園生活で困ることがないようサポートにあたっている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>保護者とのコミュニケーションをもって子どもの状態の把握に努めている</p> <p>登園時には顔色、健康状態を視診し、保護者とのコミュニケーションをもって子どもの状態の把握に努めている。また降園時以降の喫食・健康状況についても連絡帳等にて確認し、把握したうえで保育に臨むよう取り組んでいる。また園内の衛生・保健情報の掲示を通して家庭と連携しながら子どもの健康維持にあたっている。</p> <p>無理強いすることなく、生活習慣を自然に身につけられるよう取り組んでいる</p> <p>トイレトレーニングについては園が主導するかたちで家庭の意向を伺い、無理強いすることなく自然に身につけられるよう取り組んでいる。また離乳食についても栄養士が中心となり、家庭での喫食状況を確認しながらメニューの策定がなされている。家庭の意向を充分尊重し、そのほか基本的な生活習慣の習得に臨んでいる。</p> <p>メリハリある生活と柔軟な対応にて午睡と休息に取り組んでいる</p> <p>思い切り遊ぶ・きちんと話を聞くなど場面ごとにメリハリを大事にした保育を実践しており、午睡については体を休めることを主眼に柔軟に対応している。午睡時のパジャマの着用については、着脱を覚えることをねらいとして行われており、中履きの使用等についても園の思いを保護者に説明したうえで実施している。就学以降を見据え、自立と自律を意識した保育の実践に努めている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがぎまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p>決まりやルールを教え、調整する力を身につけられるよう取り組んでいる。</p> <p>当番が前に出て発表をする機会や子どもたち自身で会議をする機会をつくるなど皆の前で自己を表現する機会を持ち、主体的に取り組めるよう日常より保育にあたっている。またきちんと話を聞く、列をつくる、挨拶をする、整理整頓をするなど決まりやルールを教え、調整する力を身につけられるよう取り組んでいる。</p> <p>教育プログラムの実施など積極的に表現教育に取り組んでいる</p> <p>英語活動・国語教室など教育プログラムが実施されており、積極的に表現教育に取り組んでいる。ピアノにあわせての合唱、体操・ダンスなど体を使って楽しむことも取り入れ、総合的な指導となるよう環境設定がなされている。また制作活動を集中して行える工作室についても多目的に使用するなど子どもの創造性を育むプログラムと環境を有している。</p> <p>夕方でも子どもたちが元気に遊ぶことができるスペースを有している</p> <p>園庭は遊具等に工夫が凝らされており、夕方でも子どもたちが元気に遊ぶことができるスペースを有している。近隣には大小複数の公園や神社がある恵まれた環境にあり、散歩等皆でかけ、楽しい活動がなされている。また午後の時間や短い時間においてもテラスや園庭を利用し、積極的な戸外活動が実施されており、保護者に対しても更に理解が深まるよう報告・発信に取り組んでいる。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

行事開催の目的を明確にし、目標をもって取り組むことが心がけられている  
 年間行事計画および行事計画書が立案されており、スケジュール、工程など綿密な計画をたて、目的を明確にし目標をもって取り組むことが心がけられている。生活発表会・運動会は、日々の保育内容や成長の成果を保護者に理解してもらえる内容となっており、コロナ禍においてクラスごとに分けて開催した利点を継続し、衛生に配慮しながら行われている。

地域性と保護者ニーズを加えて行事開催がなされている

近隣に大型の体育館や中学校を有する恵まれた環境を活かし、運動会・生活発表会等の行事の際に協力を依頼している。毎月の誕生会、クリスマス会、敬老会、お月見会など季節の行事を多様に取り入れ、伝統の継承にも寄与できるよう取り組んでいる。日々の活動と成長が行事を通して形として結実できるよう取り組んでいる。法人他園の参照から地域性と保護者の認識を加えながら行事開催がなされている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

総合的に衛生と安全が確保されるよう取り組んでいる

一定の時間以降は、合同保育を実施しており、異年齢による遊びにおいても安全が確保されるよう職員間で連携を図りながら見守りがなされている。また家庭での睡眠や喫食状態を確認し、総合的に衛生と安全が確保されるよう取り組んでいる。担当であるないに関わらず、全職員がすべての子どもと保護者を把握し、子どもたちの体を休めながら保育にあたっている。より確実な安全担保のため0歳、1歳のルームが離れているが、隔絶しないよう連携に努めている。

子どもの体調を見ながら一人ひとりへの対応に努めている

0歳、1歳の部屋は畳が敷かれており、ゆったりと過ごすことができる十分なスペースが確保された環境となっている。また医務室の設置、正・准看護師の複数名配置により体調を崩した子どもに対しても適切な対応がとれるよう体制が構築されている。保育が長時間にわたる場合は絵本や紙芝居の読み聞かせなど静的な活動を取り入れ、子どもの体調を見ながら一人ひとりへの対応に努めている。



## 6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目6の講評

連携をとりながら安全で健康な食事が実施されるよう取り組んでいる

定期において給食会議を開催し、子どもたちの嗜好、喫食状況、野菜の切り方や固さなどの提供状態の意見交換をし、より良い給食提供への参考としている。複数配置された栄養士が子どもたちと一緒に食事をしながら配膳や喫食状況を確認しており、連携をとりながら安全で健康な食事が実施されるよう取り組んでいる。

安全に対するオペレーションが確立している

食物アレルギーを持つ子どもに対しては、給食会議での確認、保護者への通達、日々の確認がなされており、安全に対するオペレーションが確立している。また提供の際には、トレーの色やテーブルを状況に応じて変えるなど万全を期すよう取り組んでいる。また給食の保管時間についても徹底し、食中毒防止にあたっている。

バイキングを再開するなど以前の様子を取り戻している

子どもたちが食を身近に感じられるよう、園内の畑での野菜栽培など多様な食育活動が取り入れられている。また子どもたちも給食作りに参加するなど積極的な食育活動がなされている。旬の素材の活用、食を通して人と関わることの楽しさ、食習慣を通して決まりを覚えることなどを大切に活動が多様になされている。以前実施していたバイキングも再開するなどコロナ禍前の様子を取り戻している。

## 7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目7の講評

バイキング形式の食事などが再開されており、日常の姿を取り戻している

新型コロナウイルスの対策として、保護者の入室場所・通行方向の限定・入室制限、パーティションの使用、玩具等消毒管理、おしぼりの使用と衛生管理等々厳格な取り組みがなされてきたが、分類変更後は緩和し、衛生に配慮しながら活動がなされている。バイキング形式の食事・行事の運営・併設の高齢者施設との交流などが再開されており、日常の姿を取り戻している。

職員自身が事故を未然に防ぐためのセンサーをもてるよう啓発にあたっている

ヒヤリハット報告書については、職員の意識付けに対して継続して指導を行っており、職員自身が事故を未然に防ぐためのセンサーをもてるよう啓発にあたっている。報告書の確認を通して要因分析、周知、情報共有をし、再発・事故防止に取り組んでいる。またSIDS(乳幼児突然死症候群)の予防として、午睡時の定間隔でのチェックと記録、キッズベッドの使用など対策を講じている。

健やかに過ごすための環境を整えるよう取り組んでいる

朝の視診、体温チェック、清掃担当、医務室の設置など子どもたちが健やかに過ごすための環境を整えるよう取り組んでいる。保健計画の立案、保健だよりの保護者への配布を通して保健衛生への関心をもってもらえるよう取り組んでいる。豊富な戸外活動や課外における水泳教室等にて体力維持向上を図るよう努めている。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

面談を実施し、各家庭の要望や意見を聴取している

入園時には個人面談を実施しており、各家庭の要望や意見を聴取している。保護者からの要望に基づき入園時ばかりでなく希望者は随時、個人面談をできるようにしており、申込用紙等を設置し対応を図っている。また保護者代表者が参加する役員会からも多くの意見が寄せられ、関連な意見交換や意見を運営に取り入れる仕組みは他の園が悩む保護者対応への範といえる。

延長保育の実施、慣らし保育の短縮等保護者の就労を考慮した支援に努めている

延長保育の実施、慣らし保育の短縮等保護者の就労を考慮した支援に努めている。紙おむつの園での廃棄は、衛生面だけでなく保護者への負担をなるべく軽減できるよう配慮して実施している。またICTシステムによりタイムリーに相談や連絡ができるため、忙しい保護者へのサポートとして活用されている。

行事や役員会等でコミュニケーションを図り、信頼関係が構築できるよう取り組んでいる

登降園時の声掛け、連絡帳でのやりとりを通して家庭での状況や健康状態の情報を把握している。また保護者が参加する行事や役員会等でコミュニケーションを図り、信頼関係が構築できるよう取り組んでいる。園の戶外活動の充実、教育的プログラムだけではなく総合的な教育保育方針、併設された高齢・障害事業所への取り組み等について更に理解を深めていく意向をもっている。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

併設の高齢者事業所とはできる活動にて親睦に努めている

介護保険地域密着型サービス事業所と併設されており、地域交流・世代間交流について重視したコンセプトを持っている。事業計画への盛り込み、具体的施策の実施等そのコンセプトに沿った活動がなされている。高齢者を喜ばせることができる子どもたちの力と保護者の理解により成り立っている。衛生に配慮しながら歌を披露するなどできる活動にて親睦に努めている。

発達支援事業所を併設するなど地域のニーズに応える取り組みがなされている

区の図書サービスの利用、中学校、公園、体育館の活用など地域の社会資源を使い、地域とともに子どもを育てる環境形成に取り組んでいる。また行政が進める中核園を中心とした地域連携に対しても地域全体の保育の質向上に対して協調している。今年度より発達支援事業所を併設しており、一時預かり事業とあわせて地域のニーズに応える取り組みがなされている。